

英語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

英語指導アシスタント

〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成27年10月〇日 (〇)
- 2 学年・組 第5学年〇組
- 3 単元名 Lesson6 「ほしいもの」(4) ほしい食べ物
- 4 単元について

○ 本単元は、ほしいものを通して、文房具や花、昆虫、は虫類、食べ物などの言い方やコミュニケーションを円滑にすることばに慣れることをねらいとしている。また、文房具や花、食べ物などは外来語として馴染みのあることばが多く、日本語と英語の発音やリズム、アクセントの違いに気付かせ、ことばの由来への関心を高めることもねらっている。

5 指導に当たって

「伝えたい」「表現してみたい」という意欲を高める工夫

積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成には、「伝えたい」「表現してみたい」という意欲が大きくかかわっていると考えられる。

そこで本時においては、「伝えたい」「表現してみたい」という意欲を高める手立てとして、以下のような工夫を取り入れた。

(1) 教科と教科を結んだ学び

社会科ですでに学んでいることと関連付けた学習活動を位置付け、既習内容を想起させることで、児童は英語の形式ではなく、授業の内容に強い興味をもつようになる。そのことを通して、児童の「伝えたい」「表現してみたい」という意欲を刺激していく。

(2) 「慣れ親しむ活動」における具体的な場面設定

児童が英語表現に慣れるための発音練習を行う際に、単なる反復ではなく、その場面に応じた、それぞれの児童なりの気持ちを込めた発音をさせる。具体的には、教師がALTや児童をホームパーティに招待するという場面設定をすることで、児童の「表現してみたい」という気持ちを刺激する。

(3) 「コミュニケーション活動」における具体的な場面設定

英語表現に、単なる反復練習を通して慣れていくのではなく、その英語表現が「コミュニケーションの手段」となるような活動を取り入れる。

本時では、「コミュニケーション活動」において、まず児童それぞれがクラス全員を招待するパーティを計画する場面を設定する。次に、そのパーティに向けて、準備する食事を決定するために、招待客であるクラスの仲間が食べたいものや食べられないものが何かを調べる、という場面を設定することでコミュニケーションの必然性を生み出したい。

(4) ジェスチャーで表現

英語の授業をすすめるに当たって、当初より「ジェスチャー」を大切にしている。

例えば、授業のはじめに「あいさつ」を行う際に、同時に「暑い」「寒い」などの体感についても質問するようにしているが、児童はその質問にジェスチャーを伴って答える。

また、英語表現を練習する際には、「I like ~.」のときには「好きだ」ということを伝えるためのジェスチャーを児童とともに考え、取り入れた。一部に恥ずかしがる児童も見られるが、ほとんどの児童が自然に行えている。

コミュニケーションを図る際に、児童に三つの異なった方法（「ジェスチャーを伴わずに英語のみで行う場合」「ジェスチャーを伴って英語を話す場合」そして「ジェスチャーのみで相手に伝える場合」）を体験させることで、コミュニケーションの奥深さにふれ、コミュニケーションを図ることに興味をもたせる。

以上のような工夫を取り入れることで、子どもたちに「伝えたい」「表現してみたい」といった意欲をもたせ、英語でコミュニケーションを図ることの楽しさを存分に味わわせたい。

6 単元の目標

- 日本語と英語の発音の違いに気付くようにする。
- 文房具や花、昆虫、は虫類、食べ物などの言い方に慣れるようにする。
- 相手にほしいものをたずねたり自分のほしいものを伝えたりして、友達と楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるようにする。

7 単元の評価の観点（評価規準）

ア ことばや文化に関すること	イ 聞くこと・話すこと
○ 文房具や花、食べ物など馴染みのあるものについて、日本語と英語の発音の違いに気付いている。	○ ほしいものを聞き取ったり、伝えたりしようとするとともに、ていねいなことばを使ったり、相手の顔を見て聞いたり、明瞭な声で話したりしようとしている。

8 学習計画（全4時間 本時4／4）

時	タイトル	学習活動	評価規準	評価方法
1	ほしい文房具	○自分のほしいものの話題で、教師や友達と英語でコミュニケーションを楽しむ。	○明瞭な声でたずねたり答えたりしようとしている。 【イ】	・行動観察 ・ふり返しカードの記述
2	花束づくり	○ほしいものを聞き取ったり伝えたりすることを通して、ていねいな受け答えの言い方に慣れる。	○ていねいなことばを使って話そうとしている。【イ】	・行動観察 ・ふり返しカードの自己評価
3	昆虫集め	○昆虫やは虫類などの言い方に慣れる。	○ほしい昆虫やは虫類などの名前を聞き取ったり、伝えたりしようとしている。【イ】	・行動観察
4	ほしい食べ物	○日本語と英語の発音の違いに気づく。 ○ほしい食べ物をたずねたり答えたりして、コミュニケーションを楽しむ。	○外来語として日本語になっていることばと英語の発音の違いに気づいている。【ア】 ○相手の顔を見て聞いたり、明瞭な声で話したりしようとしている。【イ】	・ふり返しカードの記述 ・自己評価

9 本時の目標

- ほしい食べ物をたずねたり、答えたりする活動を通して、身近な料理名の日本語での言い方と英語での発音の違いに気づく。
- ほしい食べ物をたずねたり、答えたりして、コミュニケーションを楽しむ。

10 言語材料

- 単語リスト「食べ物」108～117、「菓子類など」128～136
- What do you want? I want ～. (and ～.) / I don't want ～. (and ～.)

11 本時の指導過程

時間	児童の活動	教師の支援		準備評価
		T 1	T 2	
8分	<p>あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> T2に英語で挨拶をしたり、質問に答えたりする。 Hello, Ms.○○. I'm fine, thank you. And you? It's sunny and cool. It's Tuesday. 指名された児童は質問に答える。 	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをして、気分や天気、曜日などをたずねる。 Hello, everyone. How are you? I'm fine, thank you. How's the weather today? What day is it today? ※ T2は、あいさつにジェスチャーのみで答える。 ※ ジェスチャーと共に、自分の気持ちがより伝わる言い方を工夫させる。 児童を1名ずつ指名し、その児童に対して残りの児童が、一斉に声を合わせて英語で質問するよう、合図する。(5名程度指名) 		
<p>・ 既習事項の復習をする。 例) What do you want? I want a beetle.</p>				
5分	<p>ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英単語カードを見て、T2の発音を聞きながら声に出して言う。 普段言っている食べ物や菓子類の名前と発音やアクセントが違うことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> T2の後について一緒に発音する。 日本語(外来語)と英語では発音やアクセントが違うことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 英単語カードを示し、単語を発音する。 日本語で言ったときには繰り返さず、英語で言ったときだけ繰り返すよう告げる。 <p>例) サラダ(児童:繰り返さない) salad(児童:繰り返す) ライス(児童:繰り返さない) rice(児童:繰り返す)</p>	<p>英単語カード(教師用)</p> <p>[ア]</p>
7分	<p>学習課題の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> T1とT2の会話を聞いて場面や内容を推測する。 聞こえた英語、または推測した内容を発表する。 本時の学習課題を知る。 	<p>T2やALTを招き、ホームパーティを開くため、何が食べたいか聞く場面を設定する。(写真提示)</p>		
		<p>Ms.○○, what do you want for my home party?</p> <p>OK. Thank you.</p>	<p>Um... I want pasta and ice cream. But I don't want candy.</p> <p>See you.</p>	
<p>ほしい食べ物をたずねたり答えたりしよう</p>				
		<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいの有用性を具体的な場面を挙げて想像させる。 		

